

学校教育目標 「夢に向かってともに学ぶ」

	評価計画						自己評価					学校関係者評価	改善方法
	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目・指標	目標値	昨年度	中間値	最終値	達成度	評価	結果と課題の分析	コメント	
確かな学力・体力の向上	生徒が主体的に学ぶ教育の推進と、自分の考えを表現できる力を育成する。(主体性と表現力の育成)	【主体性の育成】 ・「本質的な問い」による質の高いディスカッションが行われる授業へと授業改善を推進する。	①新四季中授業スタイルの徹底 ・2分前着席 ・語先後礼 ・目標(めあて)の提示 ・課題発見 ・かわり合い(ディスカッション) ・課題解決 ・まとめ(振り返り)	・「話し合い活動に主体的に参加できている」と回答する生徒の割合(生徒アンケート)	90%	90%	87%		97%	B	結果と課題の分析		
		小中一貫教育による主体的な学びをさらに前進させる	②総合的な学習の時間の実践 ・明確なねらいと内容 ・効果的な活動と場の設定 ・SDGs学習の推進 ・相互評価活動の実施	・『本質的な問い』を意識したディスカッションを授業に取り入れている」と回答する教師の割合(教職員アンケート)	85%	—	36%		42%	D			
		【表現力の育成】 ◎「考えを持つ」「考えを伝える」場面を取り入れた授業の構成にする。	③教師の働きかけ ・ICTの効果的な活用 ・生徒指導の三機能を生かした指導 ・ユニバーサルデザインによる授業展開	・課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む生徒の割合(全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙):廿日市市共通項目	80%	—	56%		70%	C			
豊かな心	春のような暖かい心と冬のように自己を厳しく見つめる心(判断力)を育成するとともに、主体的に活動に関わり、相手との良好な関係を結ぶことのできる表現力(ソーシャルスキル)を育成する。	【協働性の育成】 ・縦割り集団の積極的な活用により、主体的な生徒会活動を推進する。 ・生徒が自ら考え、感じ、主体的にルールやマナーを守ることができる指導を行う。	①生徒の主体的な基本的生活習慣の定着 ・委員会活動 ・活動後の評価の工夫 ②コウトレやSSTの計画的な実施 ③縦割り集団の積極的な活用 ・行事や日常的な取組(清掃活動) ・小学校との連携(合同清掃活動など) ④SSR(スペシャルサポータールーム)の設置 ・不登校生徒等の社会的自立に向けた支援 ・不登校の未然防止 ⑤特別支援教育の視点に基づいた学習指導・生徒指導(ユニバーサルデザイン)	・「学級活動、行事、係・委員会活動などに前向きに取り組んだ」と時間いっぱい一生懸命掃除をしている」と回答する生徒の割合(生徒アンケート)	90%	85%	93%	103%	A	結果と課題の分析			
		小中一貫教育による協働性と自己有用感の醸成	【自己有用感の育成】 ・お互いのよさを認め合い、一人一人の自己有用感・自己肯定感を高められるよう、やりがいのある活動と事後の評価の充実を図る。 ・不登校生徒等へのSSR担当教師を中心とした支援体制を整備する。	自己有用感に関する項目に肯定的な回答をする生徒の割合(生徒アンケート)	75%	68%	85%	113%	A				
信頼される学校	働き方改革を進め、子どもと向き合う時間を確保し、教育の質を高め、信頼される学校をつくる	【働き方改革の推進】 ・子どもと向き合う時間を確保し、親身になって生徒に関わる組織を確立する。 ・職場環境の整備と教職員の意識改革を推進する。	①働き方改革による教育の質の向上 ・チームとしての教育活動の推進 ・業務の標準化の工夫 ・行事や取組等の見直し・廃止の推進 ②学校からの発信 ・定期的な学校便りの発行 ・ホームページの定期的な更新 ・各学年、分掌通信の発行 ・進路便りの全校配布 ③PTAとの連携 ・「四季中リフレッシュ!」の取組の推進 ・PTA行事の工夫改善、保護者満足度の向上 ④地域との連携 ・地域学校協働活動の充実	・「時間外勤務80時間超」にならない職員の割合	85%	82%	83%		97%	B	結果と課題の分析		
		【積極的な情報発信】 ・積極的な情報発信を行い、保護者・地域の学校への理解を深めるとともに、協働関係を深める	・「四季が丘中学校は働きやすい職場だと思う」と回答する教職員の割合	80%	—	90%		112%	A				
		【地域連携、地域貢献】 ・地域の学校として地域の力を学校に積極的に取り入れるとともに、地域と協働し、生徒の地域貢献を進める。	・「学校の様子がよく分かる」と回答する保護者の割合	90%	88%	86%		96%	B				
		※すべての教育活動に新型コロナウイルス感染症予防対策を行い、生徒・教職員の健康・安全を最優先する。	・「四季が丘中学校で学ばせてよかった」と回答する保護者の割合(保護者アンケート)	90%	88%	89%		98%	B				
【小中共通】	「協働し、主体的に学ぶ児童・生徒の育成」	【小・中共通テーマ】 協働し、主体的に学ぶ児童・生徒の育成	・各校の主体的な学びの推進(ICTの効果的な活用) ・合同授業研究、合同教育研究会の実施	学力調査の国語科、算数・数学科の「活用」に関する評価問題において、60%以上の正答した児童生徒の割合(学力調査問題)	60%	国 数 31%	国 数 63%	国 数 105%	A	結果と課題の分析			
		家庭学習習慣の確立	・各校や発達段階に応じた学習習慣を確立するための期間・内容の設定	「私はふだん家では一日1時間以上勉強しています」と回答する生徒の割合(生徒アンケート)	80%	59%	61%		76%			B	
		小・中共通の生活習慣の徹底	・小中合同あいさつ運動の実施 ・立ち止まってあいさつの励行	「あいさつがきちんとできる」と自己評価する生徒の割合(学校評価生徒アンケート)	90%	87%	94%		104%			A	

評価基準表	
目標値に対する達成度	評価基準
A:十分に達成されている	目標値に対する達成度
B:概ね達成されている	100%以上
C:やや不十分である	80%以上100%未満
D:不十分である	60%以上80%未満
	60%未満

※複数の項目の平均値で評価する。